

ゆきよし通信

令和 3年 6月 1日 No. 32

「家にいるより、社会とつながりたい」

あっという間に春が過ぎて、これから梅雨の時期を迎えようとしています。前回の通信（No.31）でもお伝えした「家にいるより社会とつながりたい」と作業所へ行く回数を増やして通所リハビリを卒業された方にインタビューをしました！素敵なメッセージをくださったので、ゆきよし通信でご紹介させていただきます。

50歳代の男性で、作業所へ通いながら通所リハビリも週2回利用されていました。通所リハビリを卒業し、5月からは作業所へ通う生活が中心となっています。

質問① 通所リハビリを卒業するにあたって、今のお気持ちは？

少し寂しい気持ちですね…。

目標を漠然と「就職したい」「元の生活がしたい」と思っていました。

今、思えばこの状態を受け入れられなかったのかなあ。

そんなモヤモヤしてる時、根気よく一つ一つ対処法を教えてくれて感謝してます。

1番リハビリになったことは、嫌な顔せず笑顔で接してくれたことかなあ。

質問② これから作業所で頑張っていく意気込みは？

今後は作業所で、新たに事務仕事などにチャレンジしてみたいです！

【みなさんへのメッセージ】

これからリハビリを頑張る人達は、大きな目標より身近な目標を達成すると良いと思います。

その方が、最後には達成感を得られるじゃないかなあ！



コロナウイルス感染予防対策は引き続き行っておりますので、安心してご利用ください。体調が優れない時は、無理せず身体を休めましょう！



訪看・訪リハ

ゆきよし通信

- ☞ 「排泄」が原因で閉じこもりがちになっていませんか？
- ☞ 介護する家族も悩んでいませんか？

「排泄」は必要不可欠な基本的な生活行為です。しかし加齢や病気に伴い排泄が難しくなり、悩んだり、自信をなくし意欲が低下したりする場合があります。それは介護する家族にも悩みの種となります。



訪問では専門性を活かして、例えばこんなことを行います

☞ 「排泄動作」が大変…

排泄動作には、移動する・便座に座る・ズボンの上げ下げをする・後始末する等、様々な動作があります。動作が困難となる要因を探り、必要なリハビリ（関節の動き、筋力強化、その方に合った動作方法の提案と練習、環境調整の提案等）を行います。

☞ 「失禁」してしまう…

失禁の原因によっては運動により改善できる場合があります。

☞ 「介助方法」が分からない…

その方の能力を活かした、適切な介助方法を助言します。

少しずつ自分でできることが増え、自信を取り戻し、活動の幅が広がると良いですね

■ ご利用案内

ゆきよしクリニック訪問リハビリテーション

TEL 025-382-1005

ゆきよし訪問看護ステーション

TEL 025-384-0206

ホームページ

はこちら →

